

第36回市民総合スポーツ大会

第27回福岡市障がい者スポーツ大会 大会要綱・申込書

■ 総 合 開 会 式
■ 陸 上 競 技 大 会
■ フライングディスク競技大会

会期 令和4年9月10日（土）[小雨決行]

9時30分～12時30分（予定）

会場 東平尾公園博多の森陸上競技場
補助競技場

■ レクリエーション大会

会期 令和4年11月23日（祝水）

10時30分～12時30分（予定）

会場 福岡市総合体育館 メインアリーナ
（照葉積水ハウスアリーナ）

主 催

福岡市障がい者スポーツ協会、福岡市、福岡市教育委員会

（公財）福岡市スポーツ協会、NPO 法人福岡市レクリエーション協会

福岡市スポーツ推進委員協議会、各区体育振興会

（社福）福岡市身体障害者福祉協会、（社福）福岡市手をつなぐ育成会

（社福）福岡市社会福祉協議会、（社福）福岡市社会福祉事業団

大会要綱

1. 目的

障がいのある人が、初心者から上級者のレベルの人まで幅広い年齢層にわたって、各種スポーツとレクリエーションに参加し、健康や体力の維持・増進を図り、自己の可能性へ挑戦するとともに、すべての福岡市民に障がい者スポーツに対する理解を深めるため。

2. 主催

福岡市障がい者スポーツ協会、福岡市、福岡市教育委員会、(公財)福岡市スポーツ協会、
NPO法人福岡市レクリエーション協会、福岡市スポーツ推進委員協議会、各区体育振興会、
(社福)福岡市身体障害者福祉協会、(社福)福岡市手をつなぐ育成会、(社福)福岡市社会福祉協議会、
(社福)福岡市社会福祉事業団

3. 主管

福岡市障がい者スポーツ大会実行委員会、福岡市陸上競技協会、市民総合スポーツ大会実行委員会

4. 後援(予定)

朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社、産経新聞社、
時事通信社福岡支社、(一財)共同通信社福岡支社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、FBS福岡放送、
九州朝日放送、TNCテレビ西日本、TVQ九州放送(順不同)

5. 特別協賛(予定) 福岡NOZライオンズクラブ、福岡筑前ライオンズクラブ

6. 協賛企業(予定) 20社

7. 総合開会式(小雨決行)

- (1) 開催日時 令和4年9月10日(土)午前9時30分から午前9時50分終了予定
- (2) 会場 東平尾公園博多の森陸上競技場(〒812-0852 博多区東平尾公園2丁目1-2)

8. 陸上競技大会(雨天決行)

- (1) 開催日時 令和4年9月10日(土)午前10時20分から午後12時30分終了予定
- (2) 会場 東平尾公園博多の森陸上競技場
- (3) 競技種目
 - ①競技種目表〈別表1〉の該当区分の競技種目から、一人1種目まで申込みことができる。
 - ②身体障がい者、内部障がい者(ぼうこう又は直腸機能障がい)、知的障がい者の障がい区分や、年齢区分に応じた競技種目については、令和4年度第22回全国障害者スポーツ大会と同じもの(予定)を採用する。
 - ③その他の障がい者(精神障がい者)については全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねない。
 - ④団体競技(リレー)の中止の代わりに、20m競走を追加している。全国障害者スポーツ大会の出場種目ではないため、全国障害者スポーツ大会の予選は兼ねない。

9. フライングディスク競技大会（雨天決行）

(1) 開催日時 令和4年9月10日（土）午前10時20分から午後12時30分終了予定

(2) 会場 東平尾公園博多の森陸上競技場 補助競技場

(3) 競技種目

- ①身体障がい者と知的障がい者及び内部障がい者（ぼうこう又は直腸機能障がい）の競技種目とする。
- ②アキュラシー（正確性）とディスタンス（飛距離）のどちらか1種目を選択し行う。
- ③アキュラシーはディスリート5（5m）かディスリート7（7m）のどちらかを選択する。
- ④アキュラシーは全障がい男女同一区分で実施し、ディスタンスは全障がいを座位、立位に分け男女別に実施する。

10. レクリエーション大会（屋内開催）

(1) 開催日時 令和4年11月23日（祝水）午前10時30分から午後12時30分終了予定

(2) 会場 福岡市総合体育館メインアリーナ（〒813-0017 東区香椎照葉6-1-1）

(3) 種目 1. 開始式・体操 2. ボール運び 3. ダンス発表(ダンス2001)・みんなでダンス
4. 物干しゲーム 5. 体操

注) 全種目において施設職員、ボランティア等との共同参加とする。

11. 参加資格

以下(1)～(3)の条件を満たす者

(1) 福岡市内在住または福岡市内の施設、学校等に入所及び通所並びに通学している者

(2) 下記の障害者手帳のいずれかの交付を受けた者

- ①身体障害者手帳（内部障がいはぼうこう又は直腸機能障がいのみ）の交付を受けた者
- ②療育手帳の交付を受けた者。あるいは、その取得の対象に準ずる障がいのある者
- ③精神障害者保健福祉手帳の交付を受けたもの。あるいは、その取得の対象に準ずる障害のあるもの

(3) 中学生以上の方

※レクリエーション大会に限っては、小学生以上の参加が可能。（申込書に記入）

12. 申込方法

原則として施設、学校、作業所、クラブ・サークル等の団体で取りまとめて、各競技の総括申込書も一緒に添付して
申込むこと。団体等に所属していない方は個人で申込みができる。不足分の申込書はコピーするか、ホームページから
もダウンロード可能。

申込書は、直接下記申込先に持参又は郵送のみとし、電話・ファックスによる申込みは受付けないものとする。

(1) 申込み期間 ※期間を過ぎての申込みはできません。

《陸上競技大会・フライングディスク競技大会》 令和4年6月9日（木）～令和4年7月1日（金）必着

《レクリエーション大会》 令和4年6月9日（木）～令和4年8月31日（水）必着

(2) 申込み先 福岡市障がい者スポーツ協会

〒810-0062 福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ3階

電話 781-0561 FAX 781-0565

ホームページ <https://www.suporeku-fuku.com/>

13. 参加料 無料とする。（ただし、参加に要する諸費用は、参加者の負担とする。）

14. 表彰

陸上競技の個人競技及びフライングディスク競技の各組毎に行う。各組3位までの入賞者にはメダルを授与する。

15. 記録

陸上競技及びフライングディスク競技記録は、当日場内に掲示するとともに、大会終了後、福岡市障がい者スポーツ
協会ホームページ <https://www.suporeku-fuku.com/> に掲載する。

16. 健康・安全管理

- (1) 参加者は、十分な健康、安全管理に努める。
- (2) 競技中に事故が発生した場合の治療費は原則として、本人の負担とし、主催者は応急処置のみ行う。なお、主催者において傷害保険に一括加入する。

17. その他

【陸上競技・フライングディスク競技大会】

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、各競技大会1種目のエントリーとし、陸上競技大会の団体競技(400mリレー)は中止といたします。
- (2) 身体障がい者、知的障がい者の陸上競技及び、フライングディスク競技については、令和5年度特別大会全国障害者スポーツ大会(鹿児島大会)の予選を兼ねるものとする。
- (3) 陸上競技とフライングディスク競技の両方への申込みは、出来ません。予めご了承ください。
- (4) 市内各所から(往路、復路)の大会送迎バス(無料)を運行予定です。バスの乗車については、後日、調査の上、乗車券を発行いたします。
- (5) 競技場内への入退場は、係員の指示に従ってください。出場選手の介助等のため競技場内に入場できる者は予め許可を受けた者に限ります。競技場内での写真撮影等はお断りいたします。

【レクリエーション大会】

- (1) 千早駅と福岡市総合体育館の間において大会送迎バス(無料)を運行予定です。事前調査等はいたしませんので、ご利用される方は時間に余裕をもってお越しください。時間については、下記をご確認ください。

バスの運行予定時間(案)

午前	8:00	～	10:30	午後	12:30	～	14:30
	千早 (乗車)		体育館 (降車)		体育館 (乗車)		千早 (降車)
①大型	8:00	-	8:20	①大型	12:30	-	12:50
	8:40	-	9:00		13:10	-	13:30
	9:20	-	9:40		13:50	-	14:10
	10:00	-	10:20		14:30	-	14:50
②リフト	8:30	-	8:50	②リフト	13:00	-	13:20
	9:10	-	9:30		13:40	-	14:00
	9:50	-	10:10		14:20	-	14:40

- (2) 駐車場は体育館一般駐車場をご利用ください。(1時間100円 1日最大500円)
※市内に居住する方で、障害者手帳をお持ちの方は駐車料金について減免できます。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を福岡市総合体育館の総合受付に帰る直前にご提示ください。
- (3) アリーナ内での写真撮影等は進行の妨げにならないよう、ご配慮ください。

【共通】

- (1) 個人情報については、大会当日、報道機関等の取材が予想されるため、選手の写真・映像・氏名等がテレビや新聞等で報道されることがあります。また、大会プログラム及び大会記録集には、障がい区分、年齢区分、氏名、所属団体等を掲載し、主催者のカメラマンが撮影した写真を協会ニュース及び協会ホームページ、次年度ポスター等に掲載し、市や関係団体の催し等に展示することがありますので予めご了承の上、お申込み願います。(個別対応は致しかねます。)
- (2) 参加にあたっては本大会が定める「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」および各競技団体が策定するガイドライン等を遵守できる者としてします。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、規模の縮小や開催を中止する場合があります。その際は申込みをいただいた代表の方にお知らせをするとともに、当協会のホームページでもお知らせいたします。

福岡市独自の競技及びルールについて

※今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一人1種目のエントリーとする。

【陸上競技】

<競技運営について>

- 全国大会出場希望の有無により組み合わせを行う。全国大会出場希望者については、競技規則に準じて競技を行い、希望しない組については若干の緩和措置を設ける。

<精神障がいクラスについて>

- 精神障がいのクラスについては、全国障害者スポーツ大会の出場種目がないため、福岡市独自に種目を設定している。組毎に上位3名を表彰する。

<介助者について>

- 介助者の内容はスタート位置までの声かけや誘導等となっており、スタート準備が整い次第、介助者はゴールの方で待機する。

<伴走者について>

- 本大会では視覚障がい以外の障がいでも、理由がある場合には伴走者をつけての出場を認める。その場合、同じ障がい区分で年齢区分なしの表彰組とする。
- 伴走者については申込時に申請するもの。レーンの組み合わせ上、申込み後の伴走者の申請は認めない。
- 事前に伴走の申請をせずに、競技者と並走して声かけ等をおこなった場合は伴走とみなす。その際は失格となる。

<跳躍競技について>

- 立幅跳の踏切は、踏切板を使用せず、砂場近くに踏切線を設ける。
- 走幅跳は1m以上の跳躍力がないと踏切板から砂場に届かず危険なため、申し込む際には注意する。
- 走高跳のバーの高さの上げ幅は審判長が決定する。選手はあらかじめ跳び始める高さを決めておく。ただし、1m以下は測定不能とする。

<団体競技について>

- 今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とする。
- 団体競技（リレー）中止の代わりに、20m競走を追加している。全国障害者スポーツ大会の出場種目ではないため、福岡市独自に種目を設定している。組毎に上位3名を表彰する。

【フライングディスク競技】

<アキュラシー競技について>

- 競技規則ではサイトの設置は追い風を原則としているが、運営上、サイトの方向変更はおこなわない。
※吹き流しは設置
- 競技規則では試技の時間はプレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分としているが、競技進行上、今大会では3分とする。3分をこえた試技は無効とする。
- 競技規則ではいくつかの条件でも順位が決定しない場合、再投は最大5セットとしているが、競技進行上最大2セット（1セット3投）とする。

<ディスタンス競技について>

- 競技規則では1サイトは横20m以上、縦60m以上としているが、運営上、この限りではない。

<別表1>第27回福岡市障がい者スポーツ大会個人競技・種目

1. 陸上競技

◎男女別・年齢区分別 ▲男女別・年齢区分なし ○男子のみ・年齢区分なし △女子のみ・年齢区分なし

年齢区分については 令和4年9月10日現在		【身体・内部障がい者】 1部 39歳以下 2部 40歳以上		【知的障がい者】 少年 13～19歳 青年 20～35歳 壮年 36歳以上		競走							跳躍			投てき						
						20m ※1 ※7	50m ※1	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ピンバグ投		
肢体不自由	1	上肢	障がい区分	1	手部切断 片前腕切断または、片上肢不完全 片上腕切断または、片上肢完全	◎	◎						◎※3			◎	◎	◎	◎	◎		
			2	両前腕切断または、片前腕および片上腕切断 両上肢不完全		◎	◎							▲	◎	◎						
			3	両上腕切断または、両上肢完全		◎	◎							▲	◎	◎						
		下肢	4	片下腿切断または、片下肢不完全	▲	◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
			5	片大腿切断または、片下肢完全	▲	◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
			6	両下腿切断	▲	◎	◎								◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
			7	片下腿および片大腿切断 両下肢不完全	▲	◎									◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
			8	両大腿切断または、両下肢完全														◎	◎	◎	◎	◎
		2	脳原性麻痺 以外で車いす 常用、使用	9	体幹 ※2	▲	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	10			第6頸髄まで残存	▲	◎	◎							◎								◎
	11			第7頸髄まで残存										◎								◎
	12			第8頸髄まで残存			◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎
	13			下肢麻痺で座位バランスなし			◎	◎		◎	◎	◎	◎					◎	◎	◎	◎	◎
	14			下肢麻痺で座位バランスあり			◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎
	3	脳原性麻痺 (脳性麻痺、 脳血管疾患、 脳外傷等)	15	その他の車いす			◎	◎		◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎	
			16	四肢麻痺で車いす使用	▲	◎								◎								◎
			17	けって移動	▲	◎								◎								◎
			18	片上下肢で車いす使用	▲	◎								◎					◎	◎	◎	◎
			19	上肢で車いす使用	▲	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎
			20	その他走不能														◎	◎	◎	◎	◎
			21	上肢に不随意運動を伴う走可能	▲	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎
	4	視覚障がい ※5	22	その他走可能	▲	◎	◎	◎		◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
			23	電動車いす常用	▲									◎								◎
		24	視力0から0.01まで ※6		◎	◎	◎		◎	◎				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		25	その他の視覚障がい		◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		26	聴覚障がい		◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		27	知的障がい	▲	◎	◎	◎		◎	◎			▲	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		28	ぼうこう又は直腸機能障がい		◎									◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
		29	精神障がい ※4			▲	▲						○		△		▲					

- ※1 20m競走と50m競走で使用する車いすは日常生活用とする。
- ※2 体幹とは頸部・胸部・腹部及び腰部（脊柱）のみに変形がある者（脊椎カリエス等による体幹の障がい）が該当する。ただし、四肢の機能障がいを伴う場合は体幹の機能障がいがある場合もこの区分には該当しない。
- ※3 複数の障がい区分にわたり1つの◎がついている場合は、一つの区分として競技をおこない、順位を決定する。
- ※4 その他の障がい（精神障がい）については全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねない。（該当競技ではないため。）
- ※5 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。
- ※6 障がい区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。
- ※7 今年度は団体競技中止のため、20m競走を追加で実施する。しかし、全国障害者スポーツ大会の予選は兼ねない。（該当競技ではないため。）

2. フライングディスク

◇区分なし ●男女別

	アキュラシー		ディスタンス	
	ディスリート5	ディスリート7	座位	立位
肢体不自由				
視覚障がい				
聴覚障がい	◇	◇	●	●
知的障がい				
内部障がい(ぼうこう又は直腸機能障がい)				

〈参考〉障がい区分の解説

■肢体不自由1

		障がい区分名	解 説	
切断または機能障がい	立位	切断	手部	片側および両側の手部切断
			片前腕	手関節の離断を含む片側の前腕の切断者
			片上腕	肘関節の離断を含む片側の上腕の切断者
			両前腕	両側手関節離断を含む両側の前腕の切断者
			両上腕	両上腕の切断者
		片前腕および片上腕	片前腕の切断および片上腕の切断者	
		機能障がい	片上肢不完全	片側の肩・肘・手関節のうちまたは二関節に機能障がいがある者
			片上肢完全	片側の肩・肘・手関節のすべてに機能障がいがある者
			両上肢不完全	両側の肩・肘・手関節のうちまたは二関節に機能障がいがある者
			両上肢完全	両側の肩・肘・手関節のすべてに機能障がいがある者
	下肢		切断	片下腿
		片大腿		膝関節の離断を含む片大腿の切断者
		両下腿		両側の下腿の切断者
		機能障がい	両大腿	両側の大腿の切断者
			片下腿および片大腿	片下腿の切断および片大腿の切断者
	上下肢	切断	片下肢不完全	片側の股・膝・足関節のうちまたは二関節に機能障がいがある者
			片下肢完全	片側の股・膝・足関節のすべてに機能障がいがある者
		機能障がい	両下肢不完全	片側の股・膝・足関節のうちまたは二関節に機能障がいがあり、両側にそれぞれある者
			両下肢完全	両側の股・膝・足関節のすべてに機能障がいがある者
			多肢切断	三肢以上の切断者
機能障がい	片上肢および片下肢	片上肢の切断および片下肢の切断者		
	片上肢不完全および片下肢不完全	片上肢不完全および片下肢不完全の者		
機能障がい	片上肢完全および片下肢完全	片上肢完全および片下肢完全の者		
	体幹	体幹	頭部・胸部・腹部および腰部(脊柱)のみに変形がある者(脊椎カリエス等による体幹の障がいがある者)【注1】	

【注1】四肢の機能障がいを伴う場合は体幹の機能障がいがあってもこの区分には該当しない。

■肢体不自由2

		障がい区分名	解 説
脊髄損傷等	脳原性麻痺以外で車いす常用または使用	第6頸髄まで残存	肩関節周囲の筋力はほぼ正常な四肢麻痺者(肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常)
		第7頸髄まで残存	肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者(肩関節と肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物がにぎれない)
		第8頸髄まで残存	肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力はほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者(把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない)
		下肢麻痺で座位バランスなし	【注2】
		下肢麻痺で座位バランスあり	
		その他の車いす	脳原性麻痺や脊髄麻痺以外の車いす使用者(例：両下肢切断のため車いすを使用し競技する者)

【注2】「座位バランス」の判定は、「へそ」の位置の知覚レベルの有無が一つの判断基準となり、背もたれのない座位の状態でも両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランスあり」と判断する。

■肢体不自由3

		障がい区分名	解 説
(脳性麻痺・脳血管疾患・脳外傷等)	車いす	四肢麻痺で車いす使用	四肢に著しい可動域制限や協調運動障がいがある者で両上肢駆動による車いす使用者
		けて移動	両上肢の障がいがあるため両下肢または片下肢で車いすを駆動させる者
		片上下肢で車いす使用	片側の上肢と下肢で車いすを操作する者
		上肢で車いす使用	上肢による車いす使用者【注4】
		その他走不能	杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることができない者
	立位	上肢に不随意運動を伴う走可能	目的動作に障がいのある上肢協調運動障がいがあるが、走ることが可能な者
		その他走可能	【注5】
		その他	電動車いす常用

【注4】ハンドリムを瞬時に把持したり、ハンドリムをプッシュする際に肘関節を完全に伸展させることができるものはこの区分に該当する。

【注5】「上肢に不随意運動を伴う走可能」に該当しない走可能な者すべてがこの区分に該当する。

■視覚障がい

		障がい区分名	解 説
視覚障がい		視力0から0.01まで	【注6】【注7】
		その他の視覚障がい	

【注6】視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。視力を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0.01とする。

【注7】矯正後の良い方の視力が0.02以上の場合は、視野障がいの有無に関わらず、その他の視覚障がいへ区分される。

■聴覚・平衡機能障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい

		障がい区分名	解 説
聴覚・平衡機能障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい		聴覚障がい	区分しない

■知的障がい

		障がい区分名	解 説
知的障がい		知的障がい	区分しない

■内部障がい

		障がい区分名	解 説
内部障がい		ぼうこう又は直腸機能障がい	脊髄損傷等で合併したぼうこう又は直腸機能障がい者は含まない

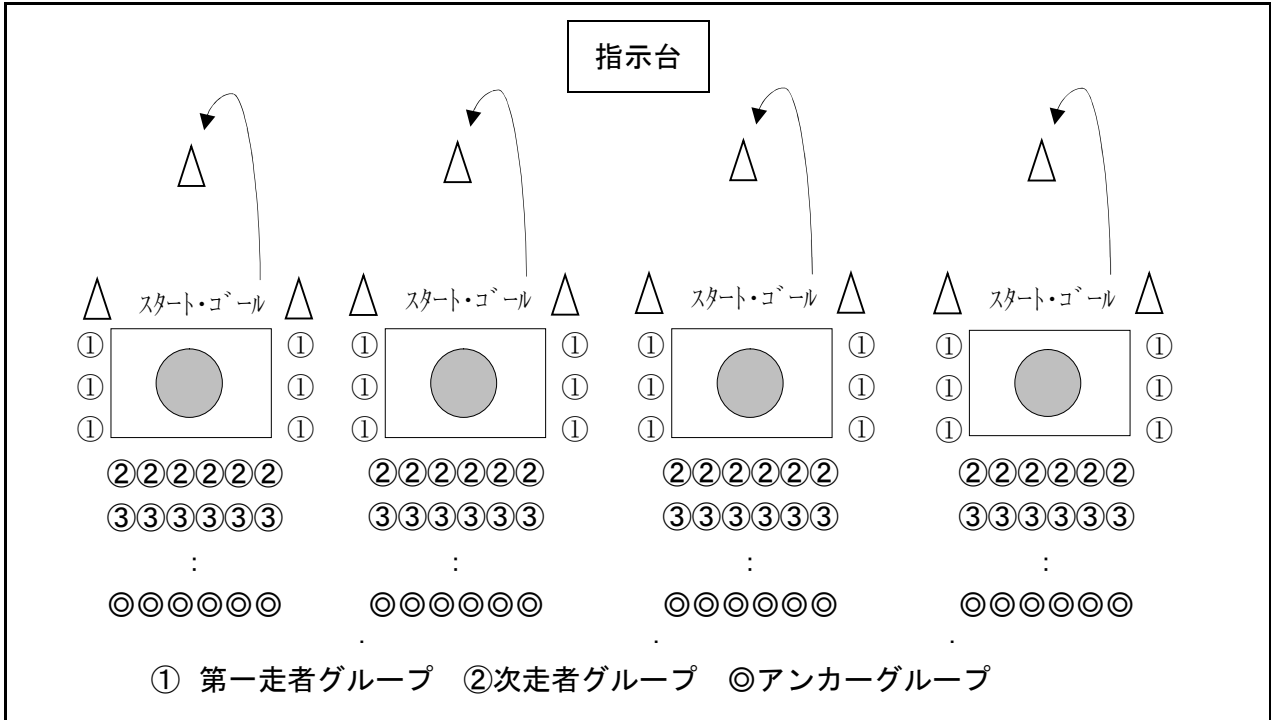
■精神障がい

		障がい区分名	解 説
精神障がい		精神障がい	区分しない

レクリエーション

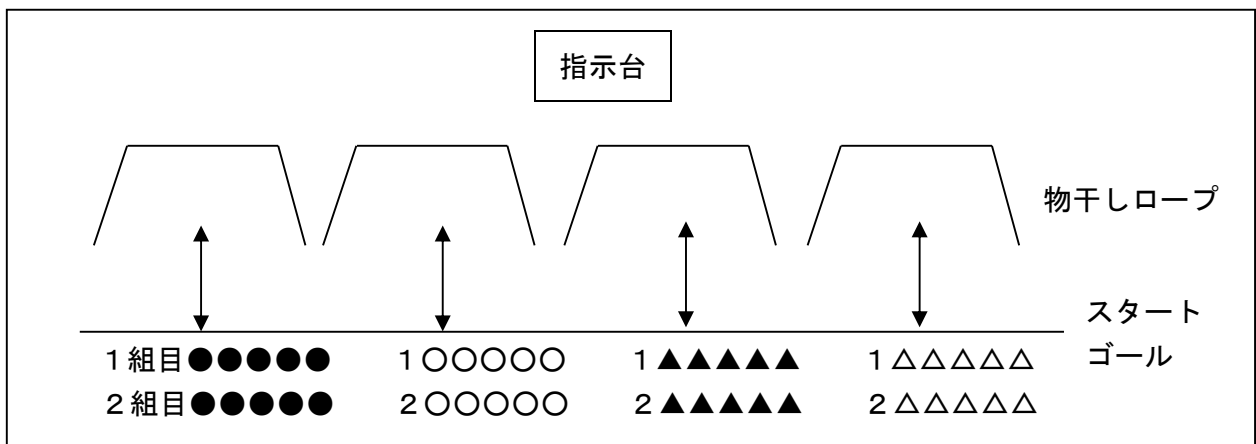
1. 開始式・体操（自由参加）～（準備運動を兼ねる）

2. ボール運び ※人数調整のため施設職員、ボランティア等に参加をお願いする場合があります。
 4ブロック毎に1組6名で大判のシートに、大きなボールを乗せて運ぶレース。
 第一走者から次走者へとシートとボールを渡していくレース式競技。



3. ダンス発表（ダンス2001）・みんなでダンス（自由参加）

4. 物干しゲーム ※人数調整のため施設職員、ボランティア等に参加をお願いする場合があります。
 4ブロック毎に1組5名でカゴに入ったタオル等を物干しロープに干し、空のカゴを次の走者組に渡す。2番目の走者組は干してあるものを取ってカゴに入れ、次の走者組に渡す。（走順が奇数组は干す、偶数组は取り込む）



5. 体操（自由参加）～（整理運動を兼ねる）